

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

362号

2021年4月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

過去の遺物、歴史の流れに反する国家保安法を撤廃しよう！

韓国情勢に関わる人ならば誰もが耳にする「国家保安法」。これは日本の治安維持法をモデルにしているとも言われますが、1948年大韓民国成立後、その年の12月1日に制定されました。

その後、軍事独裁政権のもとで何度かの改訂がなされ、1980年、全斗煥(チョン・ドゥファン)政権下の国家保衛立法会議で現行の法律体系ができました。これは簡単にいえば、朝鮮政府を反国家団体と規定し、その構成(第3条)や反国家活動の遂行(第4条)、支援や金品授受(第5条)、称賛・鼓舞する行為(第7条)などの利敵行為が法律違反とされます。つまり南北統一の相手でもある北を支援したり、その構成員との交流や接触、さらにはそれらの違反行為を知って当局に通告しないと不告知罪(第10条)として罰せられますが、実際の多くは歴代独裁政権に対する民主化運動を弾圧し、人権を抑圧するために活用されてきました。

朴正熙(パク・チンヒ)政権時代は、南北統一を主張するだけでも「利敵行為だ」として、この法律が濫用されました。最高刑は死刑で、過去多くの人たちに死刑判決が下されました。代表的なものとして「人民革命党事件」や、多くの在日留学生が捕らえられた「学園浸透スパイ団事件(11・22事件)」があります。

これらは盧武鉉(ノ・ムヒョン)政権時代に発足した「真実・和解のための過去史整理委員会」を皮切りに再審請求が行われ、次々と無罪が証明されています。まさに国家保安法を悪用したデッチ上げ、冤罪であったことが歴史的に白日の下に明かされたのです。

なかでも1970年代のある在日留学生の裁判の判決文に突如「反国家団体である韓民統(韓統連の前身)」とするくだりがあり、これが今日に至るまで韓統連が反国家団体とされる所以です。もちろん彼は韓民統とは面識もなく、近年無罪を勝ち取っており、デッチ上げの判決文は、もはや無効であることは言うまでもありません。

韓統連メンバーの多くは長く旅券発給拒否を受け、韓国を訪れることさえも困難な時期がありました。旅券発給がされるようになった今でも5年や3年と意図的に有効期間が縮小されるメンバーが多数います。また国内では朴槿恵(パク・クネ)政権時代に国家保安法を乱用し、進歩政党である統合進歩党を強制的に解散させ、所属する李石基(イ・ソッキ)議員を国家保安法によって逮捕・起訴し、



▲3月4日に開かれた国家保安法廃止国民行動出帆式

「内乱陰謀」はなかったが「内乱扇動」があったという矛盾する判決で懲役9年を受け、現在もまだ獄中にいます。李石基議員の投獄は不当なものであり、一日も早い釈放が求められます。

このように「行為」ではなく「思想」を処罰しようとする国家保安法は、民主主義国家にはあってはならず、国連人権委員会や国際アムネスティからも是正勧告を受けています。

韓国では3月4日「国家保安法廃止国民行動」が結成され、現在の国会会期内に国家保安法を廃止するための全国民的運動を行うことを明らかにしています。私たちは国内勢力とも連帯しながら、統一時代を迎えた現在、時代の流れに反し、過去の遺物である国家保安法を一日も早く廃止しなければなりません。皆で力を合わせ、南北統一への大きな一歩をともに歩みましょう。(啓)

韓統連は統一運動団体、統一を実現させ、 在日同胞の未来を切り開こう！

韓統連セミナー

韓統連大阪本部主催による韓統連セミナー「統一における南の役割、私たちの役割」が3月14日（日）、KCC会館（大阪市生野区）で開かれた。

シリーズ学習会の最終回となる今回のセミナーでは、金昌範（キム・チャンボム）韓統連大阪本部副代表委員が主催者挨拶を行った後、金隆司（キム・ユンシ）韓統連大阪本部代表委員が報告を行った。金代表は初めに朝米関係の歴史を解説しながら「朝米は約30年間も交渉し、合意と不履行を繰り返してきた。合意はすべて米国が不履行し、結果、朝鮮は実質的な核保有国となった」と指摘した。



▲セミナーには多くの同胞、日本人が参加した

次に、南の役割について「文在寅大統領はキャンドル革命によって誕生した政権だが、韓米同盟を重視し、キャンドル市民とともに社会変革を推進する意志が不足している。米国に寄り添うのではなく、自主的に南北対話などを推し進めなければならない」と語るとともに、私たちの役割として「韓統連は在日韓国人の統一運動団体であり、祖国統一を促進し、統一祖国と日本との互惠平等な関係を創造していく過程にこそ在日同胞の将来を展望することができる」と語り、日本での運動として▲統一マダン事業を通じ、朝鮮半島の平和・統一の世論喚起▲在日同胞の和合（板門店宣言の理念）などを通して、祖国統一を実現していこうと訴えた。

報告後は、質疑討論と韓国サンケン労組を支援する大阪市民の会の濱本満夫代表からアピールを受け、最後に金昌五（キム・チャンオ）韓統連大阪本部副代表委員が閉会挨拶を行い、セミナーは終了した。

日本政府の対朝鮮政策を撤回させ、 日朝国交正常化を実現させよう！ 日朝市民連帯・大阪第6回総会

韓統連大阪本部も参加している「日朝市民連帯・大阪第6回総会と記念講演会」が3月19日（金）、エルおおさか（大阪市中央区）で開催された。

第1部の総会では、共同代表の大野進さんが主催者挨拶を行った後、活動報告、会計報告、活動方針が一括提案され、参加者の拍手で確認された。

続いて、第2部の記念講演では「最近の朝鮮半島情勢と日朝関係の展望」をテーマに、康宗憲（カン・ジョンホン）韓国問題研究所代表が講演を行った。



▲記念講演を行う康宗憲代表

康代表は最近の南北関係について「朝鮮は労働党第8回党大会を通じ、南の合意履行に応じて対処すると、南にボールを投げた状態だが、文在寅政権は韓米合同軍事演習を実施するなど、韓米同盟第一主義の姿勢を堅持している」とし、「文政権が自主的な統一外交政策を進めなければ、南北関係は進まない」と語った。

続いて、朝米関係では「バイデン政権の対朝鮮政策は、歴代政権と共通した経済制裁と軍事的圧力を堅持して、北朝鮮を屈服させることにある」と述べ、「歴代政権の政策が失敗しているのに、なぜ同じ敵視政策に執着するのか」とバイデン政権に対朝鮮政策の見直しを求めた。

最後に日朝関係では「日朝交渉の前提は対朝鮮敵視政策の撤回と日朝ピョンヤン宣言の履行であり、粘り強く日本政府に日朝ピョンヤン宣言の履行などを訴えていこう」と訴えた。

講演後は、菅首相宛の要請文が朗読・採択され、最後に共同代表の長崎由美子さんが閉会挨拶を行い、第6回総会は終了した。

【会員からの抱負】

希望と目標を持って

韓統連大阪本部企画部長 高愛子(コ・エジャ)

昨年10月に韓青大阪を卒業し、2月より韓統連大阪本部の企画部長として活動をスタートする事になりました。

大先輩の方々との初めての会議は緊張、緊張、とにかく緊張でした。恐れ多くも役職をいただき、方針まで提案しましたが、やはりまだまだ足りない面が沢山あり、もっと思考を巡らせねばと痛感しました。

特に、情勢討論での先輩方の分析は本当に勉強になり、私では着目しきれない部分も取り上げておられ、とても勉強になっています。

コロナ禍により、私たちの活動は制限せざるを得ない困難な状況になっていますが、情勢は待ったなしで動いています。朝鮮半島情勢はもちろん、朝米、韓日、それに日本社会の問題は山積みです。

共に活動をする先輩方とは経験も年齢も全く違

う、まだまだ青い私ですが、しっかりと自分の見解を持って問題に向きあえるように精進していきたいです。

そして私が韓統連大阪本部に入ることにより、

「30代の女性も活躍できる場所なんだ」と周知してもらうことによって、女性も活躍しやすい場を作っていきたいと考えています。

企画部長として様々なアイデアを発揮して、韓統連大阪本部だけでなく、全国の韓統連、そして青年団体である韓青。私たちと志を共にする同志たち、全同胞に貢献できるような思いを持って活動に励んで行きます。よろしくお願いします。



【翻訳資料】 セウォル号遺族 文在寅政府は真相究明・責任者処罰の約束を守らねば

「4・16セウォル号惨事家族協議会」と「4月16日の約束国民連帯」は22日、大統領府噴水台前で記者会見を開き「文在寅政府が約束を守り、責任を全うするための時間がいくらか残っていない」と明らかにした。

これらは「私たちは聖域のない真相究明と責任者処罰、安全な社会を成し遂げると約束した。この約束を守るためにキャンドルを灯し、キャンドルで文在寅政府を誕生させた。そして文在寅政府は聖域のない真相究明と責任者処罰を約束した」と強調した。

ハン・ミギョン4・16連帯共同代表は「大統領任期が1年しか残っていない今、家族の心はあまりにも切実だ。そして私たちも切実だ。文大統領が必ず聖域のない真相調査と責任者処罰がなされるよう行動することを願う」と話した。

4・16家族協議会と4・16連帯などは7周忌の基調として「4月16日の記憶、約束、責任」を挙げた。2014年4月16日その日と犠牲者304人を「記憶」し、生命尊重、安全社会を作るという「約束」を守り、聖域のない調査、捜査を通した真相究明と責任者を処罰する「責任」を尽くさなければならないという内容だ。

これらは4月3日～9日までは「オンライン追慕りレーコンサート」を進め、9日にはソウル市庁で「セウォル号惨事7周忌安全社会フォーラム」を開催する予定だ。

4月10日には、検察特別捜査団の捜査結果と裁判所判決を糾弾して、文大統領の真相究明約束履行を促すキャンドル行動を全国で行う計画だ。惨事当日の4月16日には、安山で7周忌記憶式と4・16生命安全公園着工宣言式を進める（韓国インターネット新聞 民衆の声より）。



▲文政府に真相究明などを求める遺族たち

「統一のための練習問題」を与えられた場所で実践するために

大月純子

韓統連大阪本部では、昨年9月から韓統連セミナー「統一のための練習問題」を3回シリーズで開催しました。今号では、広島から皆勤で参加された大月純子さんに感想文を書いて頂きました。

数年前から、一日も早く朝鮮戦争を終わらせ、北東アジアの平和を実現していくために、私自身がしなければならないことを模索し続けてきました。今回のセミナーに参加して、朝鮮半島を民族が自主的に民主的に平和的に統一を実現させていくためには、私自身が歴史や情勢を学び、冷静に分析し、伝えていく力を持たなければならないとあらためて気づくことができました。

そして、私自身が朝鮮戦争の実態を知らずに来たことを改めて突きつけられました。朝鮮と中国との国境に22発の原爆による爆撃計画や、それを止めるための取り組みがあったこと、日本人が戦闘に荷担してきたことなど、今回学んだことを広島で伝えていきたいと思います。

私自身、被爆2世として、いつ放射能被害で命を奪われるかわからないという不安を抱え「こんな思いは他の誰にもさせたくない」と被爆の実相を伝える活動をしてきました。ですから、根本的には朝鮮民主主義人民共和国であれ、どこの国であれ、核兵器を持つことは容認できない立場です。けれども、なぜ朝鮮民主主義人民共和国が核を持たざるを得なくなったのかという経緯を学び、アメリカだけではなく、この世界がいかに「核抑止力」の論理に依存しているかということを改めて突きつけられました。

と同時に、アメリカなどによって「核の平和利用」というロジックが、都合よく使われてきたことにも気づかされました。原子力発電も核兵器も同じ「核」であり、原子力発電によって核兵器の材料が生産され続け、新たな被曝が強いられています。かつて日本政府は「まず被爆者たちこそが『核の平和利用』の恩恵に与るべきだ」とし、「原発の第1号は広島に作る」という計画がありました。被爆者の中には「自分たちが苦しめられ

た核が平和のために使ってもらえるなら・・・」と思い込まされた人もいます。けれども、その後、被爆者たちは「核と人類は共存できない」と訴え続けてきました。ですから私たちは、あらゆる核分裂、核融合に反対し、アメリカをはじめとする「核抑止力」「核の平和利用」を是認する世界の「空気」を私たちの手で変えていかなければならないと痛感しています。

これまで何度も朝米の間で合意が交わされてきたにもかかわらず、そのことを履行していないのはアメリカ側であることを学ぶことができました。

そこには政権交代や合意したとしても、アメリカの保守勢力によって、その履行が阻まれていることが原因ではありますが、私たち自身もアメリカの核攻撃態勢に追随し続けるこの国のありようから脱却しなければなりません。

平和協定を締結させ、朝鮮半島を民族が自主的に統一し、

北東アジアの非核地帯化を実現していくためにも、在日米軍の存在や自衛隊と米軍との共同訓練など、朝鮮半島を武力で威嚇する行為を止めさせなければなりません。そのためにも日本軍性奴隷制や元徴用工の裁判、朝鮮民主主義人民共和国に対する嘘の報道にならされている日本の空気を身近なところから変え、官民挙げての朝鮮学校に対するヘイトを無くし、高校無償化制度や幼保無償化制度に朝鮮学校を適用させなければならぬと強く思いました。

今回のセミナーを通して、自分に与えられた場所で与えられた役割を果たしていくためのエネルギーをいただくことができました。そして何よりも、共に学び、考え、討論する場が与えられたことを心から感謝し、2021年度も是非！実施して頂きたいと心から願っています。

本当に、ありがとうございました。



▲3回シリーズで開かれた韓統連セミナー

【コラム】

韓国食パン雑感

昔、朝九時頃にソウルの汝矣島を歩いていると、議事堂前の道端にトースト屋のキッチンカーがあった。食パンと玉子を鉄板で焼いて、雑にケチャップとハニーマスタードをかけただけの簡単なトーストサンドイッチだったが、そこそこ美味しかった記憶がある。このような屋台のトースト屋はソウルのあちこちで見かけた。



▲韓国のトウモロコシ食パン

韓国において食パン（シパン）のイメージは、スライスされたパンだ。日本とおおむね変わらない。ただ、こちらではあまり見かけないトウモロコシの食パンが売っていたりする。

韓国なりのパンの捉え方がうかがえる。

以前はあまり評価が高くなかった韓国のパンも品質が向上し、今では高級食パンのベーカリーが流行るほどになっている。こちらはスライスされないままの一斤売りが一般的なようだ。手でちぎって食べるらしい。

バリエーションも豊かになって、食パン専門店にはチョコ、チーズ、ブルーベリーなど様々な食パンが並び、蒸し食パンを売りにするベーカリーカフェもあると聞く。韓国にはヨモギやアズキなどさまざまな食物を加えて作る餅（トク）の文化があり、食パンにも多様でモチモチした食感を求めるところがあるのかもしれない。

韓国におけるパンの歴史はどこから始まるのだろうか。高麗や朝鮮王朝時代にパンを試作した時からか。中国からやってきた麵包やマンドゥウから始まるのだろうか。宣教師が自作していたパンという話もある。

開化期に入って、欧米との外交を通じてパン文化が流入した。宮廷の水刺間（スラカン、調理場）の遺物には製パン用の道具があり、宮廷内でパンが作られていたことが分かる。また1895年、ア

ントワネット・孫澤夫人が開設した外交官向けクラブの貞洞倶楽部は、パンやカステラを提供したという。

植民地時代になると日本から製パン職人がやってくる。1940年代には40以上の製パン業者があったそうだ。この頃に日本と同じポルトガル語由来の「パン」の呼称が定着した。しかし、小麦粉や砂糖の不足により、一般大衆への普及はできなかった。

パンが韓国に普及したのは朝鮮戦争を経て、アメリカから大量の食料援助が開始されてからだ。三白産業の時代である。国内に製粉・製糖の工場が作られてパンの国内生産が活発化し、1960年代からパンの大量生産が本格化する。



▲ソウルにあるオシャレなパン屋さん

近年、大手チェーン店に対抗する個人のベーカリーは、住み分けのために食パン専門店を作る傾向があるそうだ。韓国では従来、パンには菓子や軽食のイメージがあり、製菓店と製パン店は同義の部分があった。その中で食パンは主食としてのパンを主張する点で、他とは違う特色がある。個性を反映させやすく、パンとしての美味しさを強調しやすい食パンは、今の韓国パン文化をリードしている。（好）



【書籍紹介】

風の声

著者：金蒼生(キム・チャンセン)
新幹社・1500円＋税

本の帯に書いてあるように済州島4・3事件を扱った中編小説だ。「事件」から逃れ、日本に密航した10歳の双子の姉妹を描いている。

作品では現代の猪飼野と当時の済州島のことが交差し、難しかった。なかなか読み進めなかったのは、この本のテーマも関係すると思う。重く、辛い体験だ。

4・3事件の衝撃。島民、特に子供や高齢者などが受けた衝撃を受けとめるのには時間がかかった。4・3を扱った本は結構読んだ。ゲリラの闘争記だったり、当時の政治背景などだ。しかし庶民、特に少年、少女を描いたものは少なかった。映画「チスル」に似ている。あの映画も農民など庶民の一家を描いており、衝撃的だった。

大阪にも犠牲者の遺族、親戚の方がいて、慰霊祭も行われている。5年ほど前から慰霊祭にも参加して現地の遺族会の方の話も聞いた。

まだ現地でも、大阪でも遺族や親戚の方の苦悩は続いている。一昨年の慰霊祭では在日朝鮮人の知り合いが何人も参加されていた。聞くと父母や祖父母が済州島の出身だった。

まだ話しきれないこともあるという。済州島4・3事件の全面的な解明は、朝鮮が統一しなければできないのかもしれない。

さらにこの本には猪飼野のことが実にリアルに描いてある。日本人にはありがたかった。密航した姉妹がいかにかこの地で生き延び、そしてたくましく生活してきたか。

蒼生さんは1951年、大阪生まれの在日2世だ。娘の金民樹(キム・ミン)さんが劇団タルオルム(東大阪市)を主宰され、公演の時、オモニの本も紹介されていた。劇団は2015年に4・3を描いた「あの日、約束」も上演している。城北朝鮮初級学校で上演された時に観劇したが、この時、蒼生

さんも関わられているが、まだ蒼生さんのことは知らなかった。

蒼生さんは10年ほど前に夫婦で済州島に移住され、この作品を書かれた。他に済州島での生活を綴った「済州島で暮らせば(新幹社・2017年3月発行・1500円)もある。(中山茂)



◆◆行事案内◆◆

4・27板門店宣言3周年
～板門店宣言を实践し、朝鮮半島の自主的平和統一を～
韓統連大阪本部講演集会

日 時：4月25日(日) 午後1時30分 受付／午後2時 開会
場 所：KCC会館 (地下鉄“今里駅”下車2番出口から徒歩7分)
報 告：金昌五(キム・チャウ) 韓統連大阪本部副代表委員
参加費：800円(青年・学生500円)
主 催：韓統連大阪本部 TEL090-3822-5723(崔)

編集後記

桜の季節。しかしコロナの影響で野遊会など野外行事はできません。プロ野球も開幕しましたが、今一つ盛り上がりません。早くコロナが収まり、野外で楽しくすごしたい。球場にも行きたい。(ソン)